

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年7月28日 (2011.7.28)

【公開番号】特開2010-227106(P2010-227106A)

【公開日】平成22年10月14日 (2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-041

【出願番号】特願2010-108289(P2010-108289)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 5/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/02 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 1/19

C 1 2 P 21/02 C

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K	16/46	
C 1 2 Q	1/68	A
C 1 2 Q	1/02	
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/18	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	5/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	39/395	N
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/15	Z
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月10日(2011.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳動物の炎症性免疫反応を検出するための方法であって、(a)哺乳動物から採取した組織細胞の試験試料中と、(b)同じ細胞型の既知の正常組織細胞のコントロール試料中における、配列番号：98のPRO71061ポリペプチドをコードする遺伝子の発現レベルを検出することを含み、コントロール試料と比較して試験試料中における前記遺伝子の差次的な発現が、試験組織細胞が得られた哺乳動物における炎症性免疫反応の存在を示す方法。

【請求項 2】

炎症性免疫反応がT細胞媒介免疫応答である、請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

哺乳動物の免疫関連疾患を検出するための方法であって、(a)哺乳動物から採取した組織細胞の試験試料中と、(b)同じ細胞型の既知の正常組織細胞のコントロール試料中

における、配列番号：98のPRO71061ポリペプチドをコードする遺伝子の発現レベルを検出することを含み、コントロール試料と比較して試験試料中における前記遺伝子の差次的な発現が、試験組織細胞が得られた哺乳動物における免疫関連疾患の存在を示す方法。

【請求項4】

免疫関連疾患がT細胞媒介免疫疾患である、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

試験生物学的試料及び正常生物学的試料から得られた核酸の、PRO71061をコード化する核酸に特異的な一又は複数のプローブへのハイブリダイゼーションにより核酸レベルが測定される、請求項1又は3に記載の方法。

【請求項6】

ハイブリダイゼーションが緊縮性条件下で行われる、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

緊縮性条件が、42において50%ホルムアミド、5×SSC、50mMのリン酸ナトリウム(pH6.8)、0.1%のピロリン酸ナトリウム、5×デンハード液、超音波処理サケ精子DNA(50µg/ml)、0.1%SDS、及び10%のデキストラン硫酸を用い、42において0.2×SSC中及び55において50%ホルムアミド中で洗浄した後、55においてEDTAを含む0.1×SSCで洗浄する、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

試験生物学的試料及び正常生物学的試料から得られた核酸がmRNAである、請求項1又は3に記載の方法。

【請求項9】

試験生物学的試料及び正常生物学的試料から得られた核酸がマイクロアレイ上に配置される、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

哺乳動物の免疫関連疾患を検出するための方法であって、正常生物学的試料と比較して試験生物学的試料における、配列番号：98のPRO71061ポリペプチドの発現レベルを測定することを含み、試験生物学的試料における前記ポリペプチドの差次的な発現が、試験組織細胞が得られた哺乳動物における免疫関連疾患の存在を示す方法。

【請求項11】

哺乳動物の炎症性免疫反応を検出するための方法であって、正常生物学的試料と比較して試験生物学的試料における、配列番号：98のPRO71061ポリペプチドの発現レベルを測定することを含み、試験生物学的試料における前記ポリペプチドの差次的な発現が、試験組織細胞が得られた哺乳動物における炎症性免疫反応の存在を示す方法。

【請求項12】

PRO71061ポリペプチドに特異的に結合する抗体で過剰発現が検出される、請求項10又は11に記載の方法。

【請求項13】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項12に記載の方法。

【請求項14】

前記抗体がヒト化抗体である、請求項12に記載の方法。

【請求項15】

前記抗体が抗体断片である、請求項12に記載の方法。

【請求項16】

前記抗体が標識されている、請求項12に記載の方法。

【請求項17】

免疫関連疾患がT細胞媒介免疫疾患である、請求項10に記載の方法。

【請求項18】

炎症性免疫反応がT細胞媒介免疫応答である、請求項11に記載の方法。

【請求項 19】

免疫関連疾患が、全身性紅斑性狼瘡、リウマチ様関節炎、若年性慢性関節炎、脊椎関節症、全身性硬化症（強皮症）、特発性炎症ミオパシー（皮膚筋炎、多発性筋炎）、シェーグレン症候群、全身性血管炎、サルコイドーシス、自己免疫性溶血性貧血（免疫再生不良性貧血、発作性夜間血色素尿）、自己免疫性血小板減少（特発性血小板減少性紫斑病、免疫仲介血小板減少）、甲状腺炎（グレーブス疾患、ハシモト甲状腺炎、若年性リンパ球性甲状腺炎、萎縮性甲状腺炎）、真性糖尿病、免疫仲介腎疾患（糸球体腎炎、尿細管間質性腎炎）、中枢及び末梢神経系の脱髄疾患、例えば多発性硬化症、特発性脱髄性多発神経障害、又はギラン-バレー症候群、及び慢性炎症脱髄性多発神経障害、肝胆道疾患、例えば感染性肝炎（A型、B型、C型、D型、E型肝炎及び他の非肝親和性(nonhepatotropic)ウイルス）、自己免疫慢性活動性肝炎、原発性胆汁性肝硬変症、肉芽腫性肝炎、及び硬化性胆管炎、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎；クローン病）、グルテン過敏性腸疾患、及びウィップル病、水疱性皮膚疾患、多形性紅斑及び接触性皮膚炎を含む自己免疫又は免疫媒介皮膚疾患、乾癬、アレルギー性疾患、例えば喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、食物過敏症及び蕁麻疹、肺の免疫疾患、例えば好球性肺炎、特発性肺線維症及び過敏性肺炎、拒絶反応及び移植片対宿主疾患を含む移植関連疾患、ウイルス性疾患、例えばAIDS（HIV感染）、A型、B型、C型、D型及びE型肝炎、ヘルペス、細菌感染、真菌感染、原生動物感染及び寄生虫感染である、請求項3又は10に記載の方法。